独立監査人の監査報告書

平成22年6月21日

株式会社 みずほコーポレート銀行

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 松重 | 忠之 | ED |
|--------------------|-------|----|----|----|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 茂木 | 哲也 | ED |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 高木 | 竜二 | ED |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 永野 | 隆一 | ED |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社みずほコーポレート銀行の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社みずほコーポレート銀行及び連結子会社の平成22年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

⁽注) 1.上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当行が別途保管しております。

^{2.} 連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成23年6月20日

株式会社 みずほコーポレート銀行

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 松重 | 忠之 | ED |
|--------------------|-------|----|----|----|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 茂木 | 哲也 | ED |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 高木 | 竜二 | ED |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 三浦 | 昇 | ED |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社みずほコーポレート銀行の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書及び連結附属明細表について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社みずほコーポレート銀行及び連結子会社の平成23年3月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する連結会計年度の経営成績及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

追記情報

(重要な後発事象)に記載されているとおり、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社みずほコーポレート銀行及びみずほ証券株式会社は、平成23年4月28日開催の各社取締役会において、みずほ証券株式会社を株式交換により、株式会社みずほコーポレート銀行の完全子会社とすることを決定し、株式交換契約を締結した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

⁽注) 1.上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当行が別途保管しております。

^{2.} 連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。